

令和4年度全国学力・学習状況調査及び佐賀県学習状況調査の結果の公表にあたって

武雄市教育委員会

武雄市は平成24年度から学校ごとに公表した学習状況調査の結果をまとめて、市のホームページで公表してきました。

今年度も保護者・地域住民の皆様には学校の現状と取組、武雄市の取組が分かっていただけるように公表を行います。

学校教育は、「知・徳・体のバランスのより高い調和」を目指しており、今回公表した学力調査結果はその一部です。また、日々成長している子どもたちの現時点での一面であり、今後の取組の資料とするものです。この結果を受け、指導方法の新たな検討、校内研修の活性化等に取り組めます。

保護者・市民のみなさまに学習状況・意識調査（家庭や地域での学習や生活状況）の結果をお知らせすることにより、武雄市の教育への関心を高め、市民総ぐるみで教育を考えていただく機会にしたいと思えます。

児童、生徒の学力の向上には学校と家庭や地域との連携が必要です。今回、学習状況・意識調査を合わせて公表することで連携体制をより強くしていきたいと思っております。

公表は、小学6年生、中学3年生は全国学力・学習状況調査、その他は佐賀県学力学習状況調査の結果です。

全国学力・学習状況調査は、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問う問題の調査となっています。

1 児童の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

	国語		算数		理科	
	5年時	6年時	5年時	6年時	5年時	6年時
H29 入学 現 6 年生	県 (12月)	全国 (4月)	県 (12月)	全国 (4月)	県 (12月)	全国 (4月)
	59.5 (1.02)	70 (1.09)	50.4 (1.19)	65 (1.05)		63 (1.02)
R4 正答率の全国比		1.07		1.03		1.00

◎5年時は佐賀県学習状況調査、6年時は全国学習状況調査の推移。

◎上段は平均正答率、下段()は県平均を1としての比較。

◎「令和4年正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

・学習状況調査については、国語、算数、理科のいずれの教科も県・国と同等かそれ以上の結果が出ている。内容についても、特に大きく落ち込んで気になるような部分は見られなかった。また、意識調査についても、内容は非常に前向きな回答が多かった。ただ、ゲームやSNS視聴の時間が長い児童が若干名見られたので、指導をしていく必要がある。

2 改善に向けた具体的な取組

(1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

・学習にまじめに取り組んでおり、どの教科に関してもよく理解ができているが、11人という少人数にも関わらず、個人差が大きい。個別指導が必要な児童については、配慮をしながら学習を進めていく必要がある。また、問題文をきちんと読んで理解するための指導は引き続き行っていきたいと思う。

(2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

・よりよい集団づくりや、よりよい自分の成長を目指して、自主性のある児童の育成を目標とした指導を行っていることもあり、意識調査でも学級や集団に対する前向きな回答が多かった。これからも、教え合ったり助け合ったりしながら学習にも生活にも取り組んでいくよう継続して指導を行ってきたい。